

平成29年度 事業報告

(事業概要)

今日のわが国の経済は、設備投資の伸びは小幅に止まったものの、個人消費はサービスや耐久財を中心に増加が続き、緩やかな回復傾向にあります。

少子高齢化が急速に進む我国では、生産年齢人口（15歳～64歳人口）が減少するという構造要因を背景に一部の業種では人手不足が深刻化しています。高齢者の多くは、65歳を超えても働きたいと願っており、従来から高齢者の就労機会の確保に大きな役割を果たしてきた「シルバー人材センター事業」の拡充と高齢者の地域における就労・生活等に係る関係者の連携等施策の充実が求められています。

今日高齢者の雇用制度の確保は、一定年齢、概ね65歳までは、定年と継続雇用制度を企業を中心に進められてきたが、それを超える年齢の高齢者について、とりわけ企業や地域における就業の機会の確保という点で、シルバーの果たしてきた役割は大きいものであります。

会員100万人達成計画を打ち出し、全国的に取り組んできましたが、こうした高齢者の雇用制度が進展し、企業での雇用確保のため雇用年齢が60歳から65歳に引き上げられ、シルバーの会員の入会年齢も高齢化している。

荏田町シルバー会員の平均年齢も、平成29年度末の資料では1.1歳上昇し、72.3歳となっており、今後も会員の高齢化が更に進むものと思慮することから、入会の促進が積極的に図られなければならないと考える。

次に、安全就業については、暑い夏場の熱中症・過労対策、ハチ対策等にリーダー・会員同士の気配りにより重大事故を回避することができました。今後も「安全は全てに優先する」をスローガンに事故「ゼロ」に努めてきた。

財務状況については、受託事業収益において、公共及び民間事業書で契約件数、契約金額ともに対前年度を若干上回った。

また労働市場での人手不足分の育児・介護分野の支援のため、平成27年度に引き続き、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の推進に人手不足分野への就業延人員を増やすことができ、当初予定した補助金を確保することができました。

(事業実績)

会員拡大事業では、会員100万人達成計画を全国シルバー人材センターの目標にの一役を担うべき努力いたしましたが、前年度末比較で9名増の216人となった。

会員の平均年齢も上昇していることから今後、会員の拡大が重要課題である。

次に、収益の根幹をなす受託事業収益は当初目標額に対して約99.97%の92,970,507円となった。家庭からの受注は減収となったが、公共及び民間事業所で受注が伸びたため当初予定に見合う実績を上げることができた。

労働者派遣事業の派遣手数料収益では、派遣事業による就業開拓を行った結果、取扱手数料

が予定を大きく上回る763,352円(税込み)となった。

受け取り補助金では、連合会交付金運営費5,741,000円、サポート事業2,800,000円及び町からの補助金運営費にかかるもの5,741,000円、託児事業1,805,000円及びサポート事業995,000円等、これらを主な財源として公益事業を実施した。

公益目的事業会計決算では、経常収益計119,247,736円、経常費用計119,520,619円で、経常収支は△272,883円隣、経常外収益として樹木粉碎機の老朽化によるリース替えて得た什器備品売却益49,999円が在り決算額当期一般正味財産増減額は222,884円減少し、公益目的事業会計及び法人会計の正味財産期末残額は15,430,535円となった。

公益法人認定法に定める予算の収支相償の概念は公益目的事業について、収入が事業実施に要する適正な費用を超えてはならないとされていることから概ね良好な執行となっている。

* 収支相償 公益法人認定法が規定する公益法人が行なう公益目的事業について、収入がその実施に要する適正な費用を超えてはならない。

契約金額、就業率等の推移

	平成29年度目標	平成29年度実績	平成28年度実績	前年度比較
会員数(人)	230	216	207	9
受託事業収益(千円) *派遣手数料を除く	93,000	92,971	90,167	2,804
就業延人員(人)	18,586	19,922	17,492	2,430

(事業実施状況)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

1 就業開拓提供等事業

(1) 受託事業(一般)

高齢者(会員)が就業をとおして生きがいの充実と自らの健康保持に資するとともに、活力ある地域づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を家庭、民間、官公庁から有償で引き受け、希望と能力に応じて仕事を会員に提供してきました。受注した仕事の配分については、内容を可能な限り高齢者に周知させ、その上で高齢者の希望と能力等に応じて公平に就業の提供を行う。

現行の福祉・家事援助サービス事業(さわやかサポート事業)の受注は減少傾向であったが、「親孝行代行サービス」を見据えた事業運営に取り組んだ。

① 29年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
161人	14,937人日	74.5%	82,644千円

② 主な就業分野

- ・官公庁、企業、一般家庭等の除草、剪定等
- ・企業、事業所等における屋内外の軽作業
- ・公共施設の管理業務
- ・お墓管理（供花を含む）
- ・空家管理事業
- ・福祉家事援助サービス事業 等
- ・託児事業「あいあい」

(2) 受託事業（業務委託）

業務の受託事業では、平成27年4月1日より総合福祉会館の指定管理者の指定を引き続き、29年度も指定管理にかかる会館の管理業務と併せ、付随するかんだ号の管理業務又子育て支援ひろばの受付業務を受託し、会員に広く就業機会の提供を行った。

① 平成29年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
20人	2,221人日	9.3%	10,326千円

② 主な就業分野

- ・ 総合福祉会館指定管理業務
清掃管理、当直業務、貸館業務
- ・ 子育て支援ひろば受付業務
- ・ かんだ号運行管理業務

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務の範囲において就職を斡旋する事業で、「かんだセカンドライフ応援事業」及び職業安定機関と連携し、雇用情報等の収集、情報交換を行うものであるが利用者は無かった。

2 労働者派遣事業

地域社会における就業ニーズと高齢者が求める多様な就業により人手不足分野における臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務の範囲において労働者派遣事業を推進し高齢者の就業機会の拡充・提供に努めた。

労働者派遣事業に係る業務については、連合会と「労働者派遣事業実施に関する協定」

に基づき随時事業相談を行い、幅広い就業分野の開拓に努めた。

29年度は新に3事業所と契約が交わされ、事務手数料7%の763,252円の労働者派遣事業業務受託収益を得た。

① 平成29年度

② 実績

就業実人員	就業延人員	構成比率	派遣業務受託収益
26人	1,366人日	12.0%	763千円

③ 主な就業分野

- ・ 廃プラの中の金属除去業務（工場内軽作業）
- ・ 病院施設の草刈・剪定等環境管理及び営繕業務
- ・ 通所リハビリテーション送迎業務（車の運転）
- ・ 患者送迎業務（車の運転）
- ・ 荷捌き付帯業務（運輸関係）
- ・ 食品等の配達業務補助
- ・ 年末年始の繁忙期における商品の出荷作業

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談、助言等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ・ シルバー事業の基本的理念・システムや事業内容を広く地域に周知を図ることによって、会員の拡大又就業の拡大を目的とし、町の公民館まつり（3館）イベント時に焼き芋販売で参加し、地域交流をするとともに、チラシ、啓発グッズの配布でシルバー事業をアピールしました。
- ・ かねだセカンドライフ応援センター（町交通商工課内）の事業による就業希望者の紹介を受ける等情報交換を行ってきた。
- ・ 町広報紙「広報かねだ」を活用や荻田商工会議所の発行する広報紙に会員の募集記事また仕事の募集記事を掲載いたしました。

(2) 社会参加活動

- ・ 会員互助会によるボランティア活動は啓発月間中10月20日好天に恵まれ、公園2箇所（富久公園）の樹木の剪定（富久公園）及び除草等（新開公園）の環境整備に会員34名が汗を流し、シルバー事業の啓発を行ないました。

(3) 地域交流活動

- ・ 10月22日、「ロボット」をテーマに開催された町の子どもフェスティバルでは、会員手づくりの『あそびの広場』で参加し、託児事業を始めシルバー事業の啓発活動を行

ないました。

- ・ 町の「公民館まつり」（3館）では、3年目となる焼き芋で人集めし啓発活動を行なった。平成29年度は採算性や販売方法等の未整備のため独自事業にはいたらなかったが啓発事業と絡めて今後は検討していく。

2 安全・適正就業推進事業

- ・ シルバー保険に係る傷害保険適用事故は「ゼロ」、賠償保険適用1件、その他シルバー保険適用外事故2件があり、うち石飛ばし事故は2件となっており、事故防止策について安全委員会で協議し、各班の全メンバーの反省材料として捉える方法に変更した。

適正就業では、請負と派遣について就業形態の角度から検討し、適正就業に努めてきた。

3 相談事業

- ・ 地域の高齢者の就業相談では、町の広報紙で、不特定多数の高齢者に町の広報紙に掲載し呼びかけ、入会説明会を月1回実施してきた。その中で、「このような仕事で会員を募集しています。」と言った募集方法には多くの応募があったことから、今後広報紙への掲載方法を検討していくこととした。

4 研修・講習会

- ・ 各職群でより良いサービスの提供また、安心して施設を利用していただくための各職群でのミーティングを実施した。
- ・ 指定管理にかかる福社会館の管理業務に携わる会員を対象に消火訓練及び避難訓練を実施した。
- ・ 託児事業及び子ども広場事業での就業会員を中心に、安全に利用できるように不審者対策や災害から身を守る訓練等を逐次行なってきた。託児事業また子ども広場受付会員では、季節に応じた感染症対策の予防のための講習会を行ないました。